2026年（令和8年）10月23日発行
第171号

たぶせ 議会だより





このまち自慢

食卓を豊かに彩る食材の宝庫

p2 ..... 9月定例会
p3 ..... 委員会Q&A
p5 ..... 決算審査
p9 ..... 補助等ピックアップ
p10 ..... 一般質問（8人の議員が町政を問う）
p18 ..... まちの声
p19 ..... 研修・活動報告
p20 ..... 議員リレー随筆・発見クイズたぶせ

今号の写真 田布施地域交流館のみなさん

田布施町議会のホームページ

9月定例会

令和8年一般会計補正予算

3億3,021万円を追加

一般会計総額 **78億1,375万円**

主な事業

豪雨に伴う町有地法面（のりめん）復旧工事等　662万円

6月の豪雨により崩れた法面の復旧工事費用



たぶせ苑付近町有地法面の崩落

町道矢蔵浜城線維持管理業務委託　800万円

町道沿の竹などを本格的に伐採する委託料



町道矢蔵浜城線の繁茂した竹

麻里府保育園厨房室空調設備の更新工事　250万円

渡船乗降用浮桟橋の補修工事（馬島）　1,760万円

中学校視聴覚室空調設備　429万円

スポーツセンタープール浄化槽の更新工事等　3,624万円

損害賠償の決定

町道矢蔵浜城線から繁茂していた竹により起こった物損事故の損害賠償。
（保険適用で町の負担無し）

GIGAスクール用端末購入

端末の更新に伴い、iPad 955台を5,538万円で取得するもの。

Q　iPadを選んだ理由は。容量は。

A　県内の6市町もiPadで、本町も令和2年から不具合なく使っており持ち運びも便利。アップデートやアプリの更新に必要なため容量は128GB。

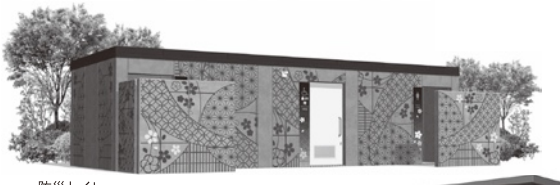
教育委員会委員の任命

任期満了に伴う、沖田 敏宜（としのり）氏の再任に同意。

工事請負契約の承認

中央南防災広場トイレ等整備工事　5,379万円

中央南防災広場に災害時でも使用できる、防災機能を備えたトイレや防災用かまどベンチなどを整備するもの。



防災トイレ

※完成予想のイメージです。



パーゴラ

Q　内訳及び3月当初予算の資料からの変更点は。

A　トイレ3,500万円、パーゴラ1,700万円、かまどベンチ120万円。パーゴラとベンチが値上がり。防災遊具は高額の為無くす。

国に非核三原則の堅持を求める請願

全会一致で採択

非核三原則（持たず、作らず、持ち込ませず）を国是として今後も堅持するよう、政府および国会に意見書の提出を求める請願が提出され全会一致で採択し、国へ意見書を提出することを決定しました。

教育保育施設の空調設備更新や今後を見据えた整備が進みます。

委員会 Q&A

経済厚生委員会
総務文教委員会

田布施町農業支援センター（TASC）

Q 取組について

A 担い手に対し、県、JA、町の３者が寄り添い、経営維持等について定期的な打ち合わせを行っている。先進地視察や農水省との意見交換も予定。

Q 農業担い手の確保について

A 既存の担い手への経営支援、企業参入の促進、地域おこし協力隊の採用等を通じ、就業者を確保したい。

Q イチジクの生育・品質はどうか

A 品質、量とも例年並み。

中山間棚田ふるさとの活力補助金

Q 条件の悪い中山間の田圃は、自然のダムや有害鳥獣防除の役割があり安全面の役割もあるので、補助金を出すよう働きかけてほしい。

A 中山間地域で持続的に農業ができるか、農業支援センターで検討していきたい。農林水産省との意見交換するので現状を伝えたい。

職員採用について



Q 採用試験早くしては。

A 今年度から新たに6月試験で10月採用を実施。高卒採用は9月以降でないと試験はできない。

移住定住　空き家対策

Q 空き家に農地が付随している場合、移住者は面積要件があり農地を取得できなかったはず。

A 令和5年の農地法改正により農地の面積要件は撤廃された。

移住就業支援金



Q 移住就業支援金の支出見込み（移住予定）は。

A 東京圏、関西圏からの２人の予定がある。

マイナンバーカード申請等委託料

Q どういう部分を委託されているのか。

A 更新時期が重なる繁忙期にむけて混雑緩和を図るため、端末の選定から運営まで一式。設置した画面上でオペレーターの案内を受けながら手続きできる。

空き家バンク登録家屋リフォーム事業

Q どういう経緯で申請されているのか。

A 空き家バンク登録をされている方。当初予算で３件組んでいたが追加で１件要望があった。

部活動地域移行



Q 今どのような状況か。

A 田布施町認定地域クラブが３団体。
残り14団体の指導員確保に引き続き努める。

田布施町認定地域クラブ　令和8年9月現在

- 男子バスケ　GREEN（グリーン）　BRAVES（ブレイヴス）
- 男子バレー　LEGASFIDA田布施（レガスフィーダ）　V.C
- 軟式野球　田布施BigDreams（ビッグドリームス）

スポーツセンター床の修理

Q 根本的な原因の雨漏りは修理しないのか。

A 令和6年に応急対応を行ったが、アリーナ室内に雨樋が通っている特殊な仕組みのため工事が複雑。他の同様施設を調査し検討。

熊対策の鈴・スプレー追加購入

Q 個数と配置は？

A 城南小、東小、田布施中などに鈴340個、スプレー10本。



観光協会事務所移転



Q 移転引っ越し費用38万円の内容は。

A オフィステーブル・椅子・看板購入費の補助。

Q 今後の場所について。

A どこを拠点とするか今後、相談・検討したい。

7月臨時会

「物価高騰重点支援地方創生臨時交付金」活用

■ 子育て応援ギフト券事業 2026 ―― 1,079万円

18歳以下の子ども１人あたり5,000円のギフト券を配る。2026年11月頃開始。

■ 中央南防災トイレ等整備工事費の増 ―― 1,491万円

資材価格等の高騰に伴う整備工事費の増額補正。

2026年9月定例会本会議

私はこう判断

各議員の判断結果一覧です。(○…賛成、×…反対)

		内山 昌晃	落合 祥二	小中 進	瀬石 公夫	高月 義夫	高見 英夫	谷村 善彦	西本 篤史	藤田枝里香	松田規久夫	守田 達也	南 一成	結果
令和７年度決算	一般会計・特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明	○
	下水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
令和８年度補正予算	一般会計（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	国民健康保険特別会計（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	介護保険特別会計（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	後期高齢者医療特別会計（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
条例	行政手続等における情報通信技術の利用に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	県収入証紙購入基金条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
工事請負契約	中央南防災広場トイレ等整備工事(建築)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
財産取得	GIGA スクール用端末（iPadOS）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
人事	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
その他	損害賠償額の決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	大字及び字の区域の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
請願	国に非核三原則の堅持を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
意見書	非核三原則の堅持を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

HOT NEWS!

「非核三原則の堅持を求める意見書」を全会一致で可決



非核三原則の堅持を求める意見書

日本は世界で唯一の戦争被爆国として、核兵器の非人道性を世界に訴え続けてきました。その基本理念として「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」という非核三原則は、国是として長年にわたり堅持され、国内外から高く評価されています。しかし近年、国際情勢の緊張を背景に、核抑止力の強化に関する議論が行われるなど、非核三原則の見直しにつながりかねない動きがあります。これは、我が国が進めてきた「核兵器のない世界」の実現に向けた取り組みに逆行するものであるとともに、東アジアの緊張を高める要因にもなりかねません。被爆者の高齢化が進む中、核兵器の悲惨さを風化させず、再び広島・長崎の惨禍を繰り返さないためにも、日本が非核三原則を今後も堅持し、核兵器廃絶に向けた国際的役割を果たすことが強く求められています。よって、国においては、非核三原則を堅持し、核兵器のない平和な世界の実現に向け積極的に取り組まれるよう強く要請します。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和8年9月18日　　田布施町議会議長　南 一成

提出先：内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、
衆議院議長、参議院議長

お詫びと訂正

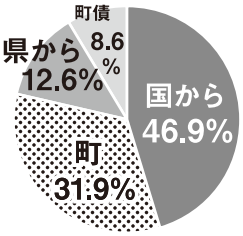
議会だより170号 p12に次の誤りがありました。高見議員の一般質問の質問１「『核のゴミ』中間貯蔵施設の安全性は」の③の回答について「事業計画が示されてからする」と記載しておりましたが、正しくは「事業計画が示されてから適切に判断する」です。お詫びして訂正いたします。

令和7年度 決算審査

町のお金が何に
使われたか審査しました。

歳入　79億4,997万円

歳入はどこから？



トップ4

1	国から	46.9％
2	町財源	31.9％
3	県から	12.6％
4	町債	8.6％

1 国から ―― 37億2,571万円
地方交付税、国庫支出金、地方譲与税など

2 町財源 ―― 25億3,786万円
町税、繰越金、繰入金、分担金・負担金、諸収入など

3 県から ―― 10億490万円
県支出金、地方消費税交付金など

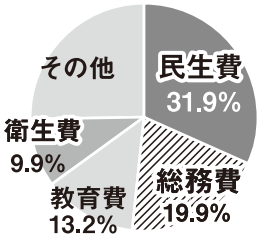
4 町債 ―― 6億8,150万円
町が借り入れたお金

歳入の大きい順

地方交付税	24億9,949万円	（31.4%）
町税	17億6,920万円	（22.2%）
国庫支出金	11億4,382万円	（14.4%）
町債	6億8,150万円	（8.6%）
県支出金	5億3,983万円	（6.8%）

歳出　76億9,828万円

何に使った？



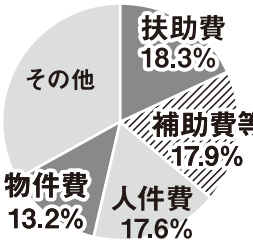
目的別 トップ4

1	民生費	31.9％
2	総務費	19.9％
3	教育費	13.2％
4	衛生費	9.9％

主な事業

民生費	障害福祉サービス等給付	3億9,424万円
	児童手当	2億4,271万円
	重度心身障害者医療費助成	6,072万円
総務費	中央南防災広場整備	3,499万円
	麻里府防災広場整備	3,216万円
教育費	麻里府公民館移転整備	3億3,986万円
	給食センター改修	1億　598万円
衛生費	大平飲料水供給施設更新	6,293万円
	定期予防接種	4,532万円

どんな種類のお金？



性質別 トップ4

1	扶助費	18.3％
2	補助費等	17.9％
3	人件費	17.6％
4	物件費	13.2％

主な内訳

扶助費	障害福祉サービス、児童手当、各種給付・医療費助成など、社会保障関係の経費
補助費等	各種団体への補助金や負担金、一部事務組合への負担金など（光地区消防組合、周東環境衛生組合、柳井地域広域水道企業団等）
人件費	職員などの給与・手当等
物件費	委託料、使用料、情報システム関係など、行政サービスを実施するための経費

徴税の収納状況

99.1%（昨年より0.2増）　県内3位

税区分での収納率
- 個人税　県内2位
- 軽自動車税　県内1位

寄附金内訳

- ふるさと寄附金　1,869万円
- 企業版ふるさと納税　130万円
- 一般寄附金　97万円

昨年度よりアップ↗

基金・町債残高

●わかりやすくいうと、　基金とは貯金　町債とは借金です

- 基金現在高　18億2,020万円（1億6,427万円減少）
- 町債現在高　52億　832万円（1億7,543万円増加）

実質公債費比率（過去3年間の平均値）　7.2%　<昨年から1.4ポイント改善>

経常収支比率　90.1%　<昨年から1.8ポイント上昇>

この決算をひとことで言うと…

新たな事業に取り組む余力や、町独自に財源を生み出す力はまだ大きくありません。
一方で、限られた財源の中でも、国や県の制度などを上手に活用し、さまざまな事業を実現しています。
これからは、今ある財源を大切に使いながら、町独自の「稼ぐ力」を育てていくことが課題です。

令和7年度決算　主な事業

子育て支援

こども家庭センターの設置

保健センター内に設置し、全ての妊産婦、子育て世帯とこどもへの一体的で切れ目のない相談支援等を開始。

- 高校生までの医療費の完全無償化
- おむつ定期便事業



おむつ受け取りの様子（子育て支援センターおんとも）

- 平生町からの学校給食事務を受託した給食センターの運営を開始

防災・減災施策

- 麻里府公民館の新築移転
- 中央南防災広場及び麻里府防災広場の整備事業
- 防災倉庫の整備やキッチンカーの購入



防災倉庫

町おこしやボランティア活動に利用できる



キッチンカー

物価高騰対策

国からの物価高騰対応臨時交付金や補助金を活用し子育て世帯に「**物価高対応子育て応援手当**」や低所得世帯等に「**物価高騰重点支援給付金**」を支給。

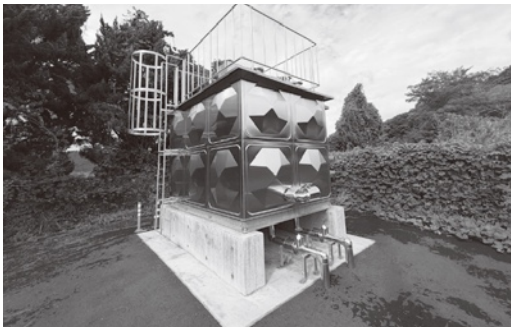
- 小・中学校給食費の無償化　町独自
- 子育て応援ギフト券事業　町独自

デジタル変革

- 自治体情報システムの標準化・共通化事業

インフラ整備

- 老朽化した大平飲料水供給施設の更新事業



大平受水槽

- 光地区消防組合中央消防署東出張所の新築移転



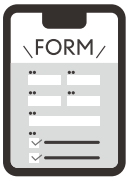
- 田布施・平生水道企業団の柳井地域広域水道企業団への経営統合

決算審査特別委員会Q&A

AI活用事業　104万円

Q 電子申請のシステム申請件数（Logoフォーム）が伸びているのはなぜか。（前年度518件から9330件へ）

A 主に中学校で保護者とのやり取りで、アンケートフォームをつくり運用したことが利用が伸びた一因。



LINE申請導入事業　130万円

Q 住民票の申請は、実績がないがなぜか。

A LINEによる申請は申し込みはできるものの、届くのは郵送ということで手に入るまでの期間が長い。コンビニでは即発行できる。どのようなサービスが良いか検討していく。

担い手育成支援事業　18万円

Q 事業目的と取組の状況は。

A 担い手育成総合支援協議会で事業計画を作っている。お試し農業体験ツアーを2回おこない、移住が1件あった。ホワイトコーンの生産経費の支援や苗の配布、特産品の振興など様々な担い手確保に資する取り組みを行っている。



お試し農業体験ツアーの様子

田布施町地域公共交通協議会　960万円

Q 年2回開催され、のりーね事業も順調に推移している。これ以上利用者が増加した場合の対応は。

A 現在会員数は134名。日頃使われる方が約60名。利用者の増加や遠方の利用があった場合、時間帯や利用日を変更してもらうといった対応をしている。現状の車2台体制など運用方法を含め、どう解決するか方向性を決めていきたい。

子育て支援情報配信サービス　233万円

Q 内容は「母子モ」だと思うが、実際に活用されている状況は。

A 妊娠届を出された時に、ほぼ全ての方に登録いただいている。情報発信については、このアプリを県も使っているので、町も積極的に使いたい。利用者は、多い月で95名、少ない月で70名程度。ただ課題もありこれからも検討していきたい。

ゴミボックス補助事業　9万円

Q 物価高騰の折、ゴミボックスへの補助は変わらず3万円である。増額の検討はできないか。

A ゴミボックスの実勢価格等も調べ検討していく。

移住・関係人口促進マッチングサービス使用料　60万円

Q 移住情報サイト「スマウト」の利用料だと思うが効果は。

A 職員が記事を上げて地域おこし協力隊の募集を行い、今年1名就業。年3本記事を上げている。



「スマウト」のホームページ

指定文化財等管理　16万円

Q 古墳等の管理状況は。

A 毎年補助を出し、地元の方に草刈りなどの管理をお願いしている。後井古墳に関しては地元の方が高齢等の理由により、管理ができないため、教育委員会で管理をしている。

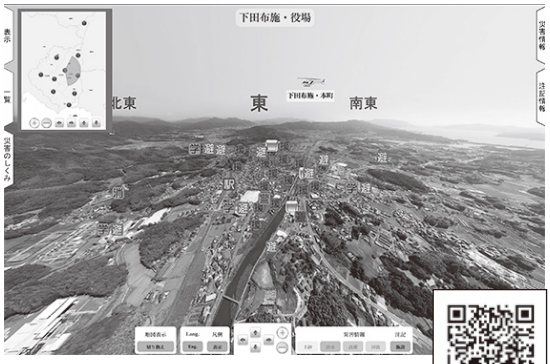


決算審査特別委員会Q&A

Web版ハザードマップ作製委託　696万円

Q ドローンで撮影され立派な仕上がりだが、ここまでする必要はあるか。

A 紙媒体でハザードマップは提供しているが、紙面が大きく扱いにくい。そこでスマートフォンで手軽に確認でき通信さえ確保できれば手元で確認できることは、防災上も非常に有用なため。このフォーマットは先行自治体が作成したもので、それに沿った形で作成している。



Web版ハザードマップの画面

スマホはこちらから

公園維持管理委託料　225万円

Q 遊具の撤去はどういう基準でされているのか。

A 業者に委託した際、判定基準に沿って点検し撤去の基準の点数になると撤去という対応をしている。地元からの要望で撤去することもある。

町史（平成版）編纂（へんさん）事業　464万円

Q 販売はどうなっているか。

A 現在社会教育課の窓口と図書館で販売。残りが９０冊となっている。

空き店舗活用事業　100万円

Q 対象が１件あるが詳細は。

A 弁当・菓子販売業者が申請され、店舗改修と機器等に対して補助している。

周東環境衛生組合　２億8,249万円

Q 周東環境衛生組合のなかに、浄化槽等くみ取ったし尿を処理する費用も含まれるが、県の汚水処理場へ受け入れてもらい、組合の費用を少しでも減らせないか。

A 技術的な面も含めて将来的に検討する余地はある。

各地域連合自治会との意見交換会

Q 町と各地域連合自治会との意見交換会が開催なしとなっているが理由は。

A 意見交換会開催にあたって、自治会長の参加率が低いこと、自治会の要望や意見を集約する作業が大きな負担であることなど、会の必要性を疑問視する意見があり、田布施町自治会連絡協議会において中止を決めた。

道路橋梁点検委託料　5,071万円

Q ５年に一度の点検費用が135橋で5,071万円。今回点検した結果はどうか。

A 検査結果は健全度Ⅲ（機能自体に支障が生じる可能性がある）の橋が10橋あり、早期に修繕等をする必要がある。ただし、通行には支障はない。



橋梁点検（宿井橋）

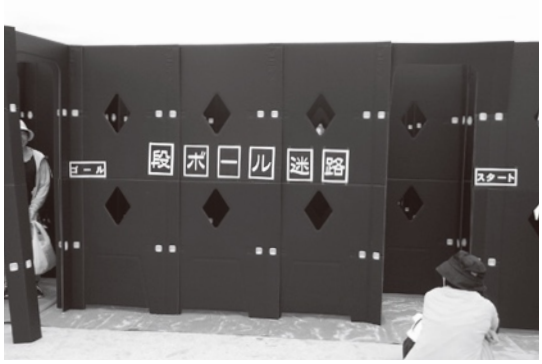


橋梁点検（さくら橋）

たぶせスポーツまつり実行委員会　21万円

Q スポーツまつりでダンボール迷路を購入されたが、繰り返し使える耐久性はどうか。

A ３週間から１か月程度のイベント会場で屋内設置を想定して作られているので、決して耐久性が良いものではない。しかしスポーツまつりだけではもったいないので、城南公民館まつりでも、小学校体育館に設置した。今後も屋内での使用を前提に大切に使っていきたい。





意外と知られていない!?
町の補助等ピックアップ

活用度が低い

くわしくは担当課におたずねください。

※令和８年９月時点の情報です。



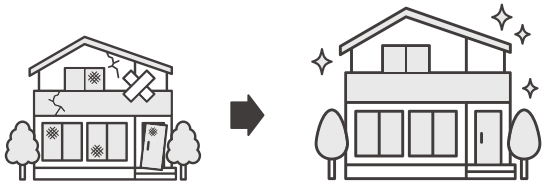
空き家バンクリフォーム

経済課

最大40万円

空き家バンクの登録物件で
空き家の所有者、購入者、賃貸された方が対象。

■ 空き家の機能向上のための改修　上限30万円
■ 不用物の撤去　上限10万円



移住就業支援金

経済課

100万円

東京圏及び指定都市から県内の企業等に就業、または
テレワークなどで町内に移住する人を支援します。

■ １世帯100万円、
18歳未満の子ども
１人につき100万円、
単身世帯60万円

※東京圏以外の指定都市は半額



空き店舗活用事業

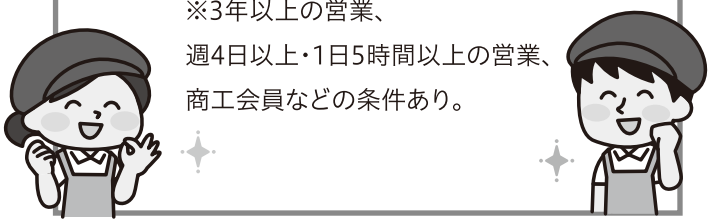
経済課

最大100万円

空き店舗等で新たに事業を始める方が対象。

■ 改装費・機械設備費。
対象経費の1/2以内（上限100万円）

※3年以上の営業、
週4日以上・1日5時間以上の営業、
商工会員などの条件あり。



まちづくりイベント３年間補助

経済課

最大35万円

（離島・飛地は最大52.5万円）

町内で開催する地域活性化につながる
非営利イベントを支援。

■ 1回目：上限20万円（離島・飛地30万円）
■ 2回目：1回目の1/2　■ 3回目：1回目の1/4

※町内に事務所・事業所を有する法人・団体が対象
※同一イベントにつき3回まで



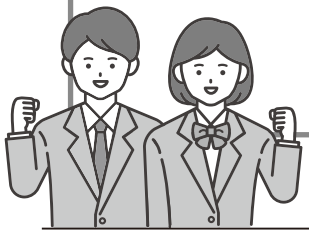
田布施町奨学金 &Uターン時返還額1/2

学校教育課

経済的な理由で就学が困難な方に奨学金を貸付。
対象：高校・高専・大学・専修学校など

■ 卒業後、町内に居住・就業すると、
返還額の1/2を減免。

※在学中・進学予定者が対象。
減免には申請が必要。



番外編

国民健康保険・介護保険

田布施町は県内でも安い？！



令和８年度の柳井地域１市４町の比較

	国民健康保険税（医療分、支援分、介護分、子ども分の合計）			介護保険料基準額（第５段階）
市町名	所得割（%）	均等割（円）	平等割（円）	保険料年額（円）
柳井市	12.73	44,030	35,310	61,200
田布施町	**11.35**	**42,300**	**27,800**	**59,000**
平生町	11.80	53,640	31,900	60,600
上関町	11.94	37,900	33,700	69,600
周防大島町	13.70	45,400	39,800	67,800

参照:各市町ホームページ

一般質問

8人の議員が町政の課題を問う

質問の一部を要約してお伝えします



落合 祥二
議員

Q クリエイティブな職員をどう育てる

問 40年前、ある議員が助役（副町長）に「役場は何のためにあるのか」と問うたら「明日の町民のためにある」と答えたという。町長は、どう捉えるか。

役場は未来の田布施を作っていかなくてはならない。クリエイティブ（新しい価値や表現を生み出す）な職員をどう育てるのか。

A AIを使い業務負担を軽減　東町長

答 業務量は年々増加・複雑化しており、職員が業務に追われる状況もある。しかし職員が働きやすく、町民や職員から信頼され、笑顔あふれる職場にしていきたい。そして日々新しい事にチャレンジする職員になって欲しい。

そのため、AIを使い業務負担を軽減し余力をうみたい。



「この町の未来を!一緒に築きませんか!」がキャッチコピーの募集ガイド

Q 増え続ける空き家・空き地どうするのか

問 空き家・空き地を放置すると管理負担が増えやすいので、早めに整理しておくのが大事。国土交通省は空家法制定や空き地対策のガイドラインを公表している。そこで尋ねる。

①空き家・空き地は、どのぐらいあるのか。実態調査は。

②本町は、空き家・空き地の相談に適切に対応しているか。

A 建設課、経済課、アキソルで対応　東町長

答 ①倒壊など危険な状態である特定空家は12件。空き家の実態調査は予定していない。一方、空き地は国交省のガイドラインを踏まえ対応に努める。

②特定空家は建設課、空き家の活用方法は経済課で対応。空き家アドバイザー「アキソル」への相談は令和6年3月からこれまで17件だった。

Q 田布施駅舎等整備事業スケジュールどおり進むのか

問 田布施駅舎等整備事業は重要な町づくり事業である。先月8月26日に田布施駅舎等整備検討委員会が開催されている。そこで尋ねる。

①コンサルは決まったのか。

②スケジュールどおり進むのか。

A 12月頃までに基本方針を決定　東町長

答 ①田布施交流拠点施設（合築駅舎）及び賑わい創出広場の基本設計、実施設計、測量業務及び地質調査業務の委託契約を、JR西日本コンサルタンツと締結。

②JR西日本は来年秋から駅舎解体を進める予定なので、本年12月頃までには、本町の基本方針を決定し、来年4月までに基本設計をまとめるつもりだ。

Q 地域防災と学校安全教育取組み状況は



高月 義夫
議員

A 地域住民が主体となり避難所開設・運営できる体制作り　東 町長

「生きた防災教育」を推進する　藤田教育長

問 近年の地震、豪雨などの災害を踏まえ、町長には、町民の防災意識向上、要配慮者支援を含む避難訓練の課題、教育長へは子どもとの合同訓練、マニュアルに縛られない『生きた防災教育』の推進について、前回の質問から2年間の取組みの現状と課題について問う。

答 「災害別避難行動のてびき」を全戸配布しており、防災意識を高めていく。個別避難計画の運用や地域主体の避難所運営マニュアル作成で要配慮者支援と避難体制を強化する。今後、保幼小中合同訓練の実施や、学校・家庭・地域の連携で、自ら判断し行動する「生きた防災教育」を推進する。



避難所開設訓練の様子

Q 「ふるさと住民登録制度」早期対応を

A システム対応や宿泊環境、周知・登録促進を図る　東 町長

問 人口減少が進む中、定住人口から関係人口創出への転換を図るため、新たに創設された「ふるさと住民登録制度」の導入に早期対応すべき。制度の内容や活用法、総務省への申請時期や募集手段を問う。スピード感ある体制構築や宿泊環境の整備、地域での受入推進を求める。

答 この制度は関係人口創出の有用性があり、10月～1月の総務省へのシステム利用申請の準備を進める。空き家・町営住宅等を活用した宿泊環境の検討や、具体的方策を図る。「田布施倶楽部」や「二十歳の集い」など機会を捉え町外に居住する出身者等への周知・登録促進を図っていく。

PICK UP

「第2の住民票」で地域とつながる

「ふるさと住民登録制度」



国は令和8年度末から開始予定。
地域の情報を受け取ったり、地域活動に参加したりしながら、地域の担い手として関わる制度です。住民税・登録費用はかかりません。

ベーシック

情報を受け取り、地域とのつながりをつくる。
登録自治体数の制限なし

プレミアム

年3回以上の担い手活動への参加が条件。
3自治体まで登録可能
交通費・宿泊費の補助などの支援あり。
→ 伝統行事／防災／清掃・草刈り／農業など



西本 篤史
議員

Q 環境問題
圃場への農薬・除草剤の安全性は

A 農薬危害防止対策の徹底を図る
東町長

問 近年、畔（あぜ）に除草剤を撒く姿やドローンで農薬を撒くのを見かける。ドローン用農薬は強力であらゆる虫が死ぬと聞く。ミツバチが死滅した事例もある。安全な農産物を給食に使っているか。住宅地周辺での使用制限を事業者に徹底しているか。「令和8年農薬危害防止運動」に参加したか。

答 給食センターでは、農産物の品質や安全性の確保に努めている。農薬使用に関するルールについては、国や県など関係機関が定める基準をもとに、農協など関係機関と協力して農薬危害防止対策の徹底を図る。令和8年農薬危害防止運動のチラシやリーフレットを役場の窓口に設置した。



ドローンで農薬散布

Q 関係人口の増加にむけて

A 駅にデジタルサイネージ（電子掲示板）の設置を検討
東町長

問 「たぶせ未来戦略」の基本目標は、まちづくりである。会議では関係人口の増加を目標にしている。詩情公園にスケートボードコースを作ってはどうか。町は古墳のまちと言われ沢山の歴史がある。今度、建て替える駅に看板や、町HPで紹介し、沢山訪れるよう整備してはどうか。

答 スケートボードコース設置については、設置（2千万円程度）やメンテナンスにも多大な費用がかかり実現は難しい。駅は田布施町の玄関口として観光案内所やデジタルサイネージ等の設置を検討しており、そのなかでご提案頂いた手段も用いて積極的にPRしてまいりたい。

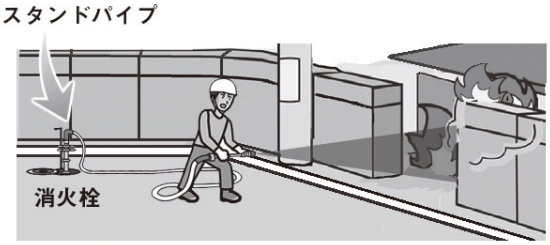
Q スタンドパイプで
初期消火を

A 導入の可能性について検討
東町長

問 防災拠点にB&G財団が配備する資機材を有効活用するために、油圧ショベルにハンマーナイフを装着し自治会に貸し出し、草刈りに活用できないか。また、地震や火災など緊急時に消火栓を消防団以外の自主防災組織で初期消火が出来るようスタンドパイプなどの整備ができないか。

答 自治会への貸し出しについては、要請があった場合、緊急時の応急対応に必要な資機材として貸し出しを検討。

地域住民による初期消火活動は、被害の拡大防止に重要な役割を果たす。今後、消防署及び消防団、自主防災組織連絡協議会で意見を伺い、導入の可能性について検討する。





松田規久夫
議員

Q 年収による税と社会保障費の負担率は

A 試算した負担率を示す
東 町長

問 少子高齢化が深刻化する今、社会のコストを誰が支えるべきか。日本は現役世代の労働所得（所得税・社会保険料）に過度に依存してきた。標準世帯（40歳代で夫婦と子ども2人）税と社会保障費負担率は。従来同様の試算条件で住民の負担率を尋ねる。また、高齢化が進む現在、75歳の高齢者1人世帯ではどうか。

答 答弁は下表のとおり。

標準世帯モデルケース

年収別町民負担率（参考）

年度＼年収	300万円	500万円	700万円
2024年	27.2%	24.4%	23.9%
2025年	27.6%	24.7%	24.1%
2026年	28.0%	24.5%	24.2%

75歳の高齢者1人世帯

年収別町民負担率（参考）

年度＼年収	110万円	200万円
2024年	4.2%	10.7%
2025年	4.2%	10.6%
2026年	4.3%	10.3%

Q 食品消費税8％から1％の影響はどのように

A 課題があり事務量の増加を懸念する
東 町長

問 税はシンプルで公平・公正、これが大原則。8％－1％の7％は均等に現金給付すべき。2年間の減税で、国民が負担する事務処理コストは莫大で、未来の投資に繋がらない捨て金となる。消費税は社会保障費に充てる。財政余力はなく、消費税減税はすべきではない。

答 国、地方で4.4兆円の減収。そのうち地方は1.7兆円の減収。町は数千万円の減収。物価高の負担軽減策が町民にしっかりと届き、物価高等の影響を受けている町民が安心して生活できるよう取り組む。消費減税には様々な課題があり、事務量の増加を大変懸念する。

Q 遊休町有地に太陽光、一歩進めて地下にCO^2

A 持続可能なまちづくりに全力を尽くす
東 町長

問 ゼロカーボンシティに取り組み、50年には二酸化炭素排出量ゼロを目指している。削減を目指すのは温暖化防止のため当然で、一歩進めJ-クレジット制度を利用しお金を稼ぐ提案をしたい。CCS（CO^2回収・貯留）の田布施での事業開始が可能か検討をお願いする。

答 ゼロカーボンシティ宣言はしていないが、脱炭素社会の実現を見据え、地球温暖化対策の重要性を認識している。J-クレジット制度は削減・吸収されたCO^2をクレジットとし認証・売却し収益を得る魅力的な施策。CCS事業化は、自治体が主体となって実施するには技術的・財政的観点から困難。

※**J-クレジット制度**：CO^2等の排出削減量や適切な森林管理によるCO^2の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。



藤田枝里香
議員

Q 特産品や地域の特色、無形文化財等を守り継ぐ取り組みについて

問 地域資源の保全は個人や団体任せでは難しい。
①大波野神舞等の継承に向け保育・教育で体験を増やしては。
②いちじく生産者を増やし守るには。
③河川浚渫を活用してカブトガニの産卵場所を。
④体験会や見学会の実施、情報発信強化は。
⑤田布施らしさを再発見し継続する取り組みは。

A 関係者と連携し、それぞれの課題に応じて検討する　東町長

答 ①継続可能な形で体験機会の充実について検討。まずやってみたいと感じてもらうのが大切。
②JA南すおう田布施イチジク部会と連携し体験会実施。
③調査研究が必要だが予定なし。
④広報やホームページなどで、情報発信の強化を図る。
⑤学校や地域に残る田布施ならではの教育活動を大切にしたい。

大切な思いを時代に合った形で次の世代へ　藤田教育長



2～3年幼生がおらず個体のいなくなる恐れがあるカブトガニ

Q 高校・大学における金銭的負担を軽減する取り組み

A 限られた財源のなか何が適正か見極めないといけない　東町長

問 ①町外高校生の通学費補助は。②ふるさと住民登録による大学生等の帰省費補助は。③児童手当の多子算定基準への見解は。④子育てHPに中学生以上の情報掲載を。⑤新入学準備金の高校への拡大は。⑥Uターン応援奨学金返還補助は。⑦多子世帯へのファミリーカー助成は。

答 ①支援したいが精査・比較検討が必要。②財源が明確にならないと判断できない。③国の基準であり変更不可。④必要な情報にアクセスできるよう検討。⑤国・県の支援や実態の精査が先決。⑥Uターンで返還補助。⑦公平性・必要性を検討するが財源も限られる。



定期代に加え、自宅から駅、
駅から高校まで自転車が必要になることも。



瀬石 公夫
議員

Q ケーブルテレビ 地域情報発信として整備できないか

A 事業者で検討されている
東 町長

問 近隣市町ではケーブルテレビ（CATV）が地域情報、防災情報、行政情報として活用されているが、本町には整備されていない。CATV事業者との連携や国・県の補助制度により整備できないか。６月議会で、本町でCATV放送のサービスを検討中の事業者があるとの答弁であったがその後は。

答 本町では、ホームページやメール配信サービス、LINE公式アカウント、防災行政無線など、多角的な行政情報の発信に努めている。高齢者の方は、ネット通信より、テレビによる情報の取得が強いと認識している。CATV事業者でエリア拡大を検討されていると考えているが、現在、連絡等はない。



出典：総務省

Q 田布施町の各種計画は 予算編成や事業に 反映されているか



A 町民に関わる計画の 結果公表は検討する
東 町長

問 「たぶせ未来戦略」をはじめ、地方創生、子育て、教育、防災などの分野で計画が策定されている。これらの計画策定には、職員の労力に加え、多額の委託料などの経費が投入されている。その計画が予算編成や具体的な事業にどの様に反映されたか。その結果を町民に公表して欲しい。

答 「田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、基本目標を策定し、毎年、地方創生検討委員会で検証を行っている。その他の計画についても、各担当部局にて適切に検証し、計画や目標の変更を行っている。町民の方に関わりがある計画の結果公表は、検討させていただく。

Q 町長選に中間貯蔵についての見解を示すべき



高見 英夫
議員

A 選挙公報の中で考えたい
東 町長

問 ①中間貯蔵について「私の意見と町の意見というのは、それぞれの考え方が違います」と答弁しているが、どう違うのか。
②町長選挙に向けての選挙公約ではこれまでの答弁に沿って「安全安心ということを最重点において」中間貯蔵施設への対応を明らかにすべきでは。

答 ①町長としての立場と1個人としての思いは異なるということ。
②反対の専門家の意見も含めたシンポジウムは必要。安全性は、民主的なプロセスの形成の中で判断したい。表明は選挙公報の中で考えたい。



Q 自衛隊の個人情報閲覧は本人の同意を得たもののみに

A 同意を得るための費用は3万2千円程度 閲覧は断れない
東 町長

問 ①本人が知らないうちに、町は今年何人の18歳住民（高校3年生）の氏名・住所・性別・生年月日を自衛隊に閲覧させたのか。②住民のプライバシーを守り、自衛隊からの要請を両立させるには、同意を得られた住民の情報のみ提供すべきだが、そのための郵送料など費用はいくらか。

答 ①133人（障がい者等も含め全員）。
②往復郵送料など3万2千円程度。閲覧は法令に基づく義務であるため、ペナルティは無いが、原則として断ることはできないと考える。個人情報提供を望まない方への配慮として、除外申請制度を創設し、来年度から適用したい。

Q 補聴器購入助成制度をつくるべき

A 来年度実現できるよう準備する
東 町長

問 65歳を超えると聞こえにくさを感じる人が急激に増え、75歳以上では約半数の人が聞こえにくさを感じる。難聴は、社会的孤立に陥るリスクが2.8倍、認知症リスクが1.4倍の悪影響がある。補聴器は高額で購入を躊躇している人もいる。①本町の65歳以上の人口は。②補聴器購入助成制度をつくるべきでは。

答 ①8月末現在で5,304人（町人口の39%）。②補聴器購入助成は県内7市2町が実施。光市や柳井市では購入費の2分の1以内を助成し、上限を3万円としている。次年度予算編成までに実現できるように準備する。

Q 生活基盤整備支援事業について 受益者の負担軽減を



守田 達也
議員

A 支援の方法等 今後検討したい

東 町長

問 生活環境整備補助制度は20年を経過した。高齢化や地域の連帯感の希薄化、物価高など本来事業の目的に合わなくなっている。そこで質問する。①過去3年間の利用件数は。②地域単独と業者による実施比率は。③受益者負担の軽減は。④貸出資機材の安全管理は。⑤支援に草刈りは。⑥申請書の簡素化は。

答 ①3年間で計44件②約84％が業者。③補助額をR6年に1．5倍に増額している。今後も物価等注視する。④原則として、施工責任は申請者となる。資格等、安全管理は確認していない。⑤草刈り機を無償で貸し出しているので利用を。⑥書類は審査時に最低限必要な物、電子化など利便性の向上を検討する。



業者による道路法面の修復工事

用語メモ

生活基盤整備支援事業

地域で行う生活道・農道・水路などの整備・補修を支援する事業。住民が共同で行う作業に、資材購入費や特殊機材の借上げ費の助成。整備内容に応じて、受益世帯数×6～15万円（上限30～75万円）。



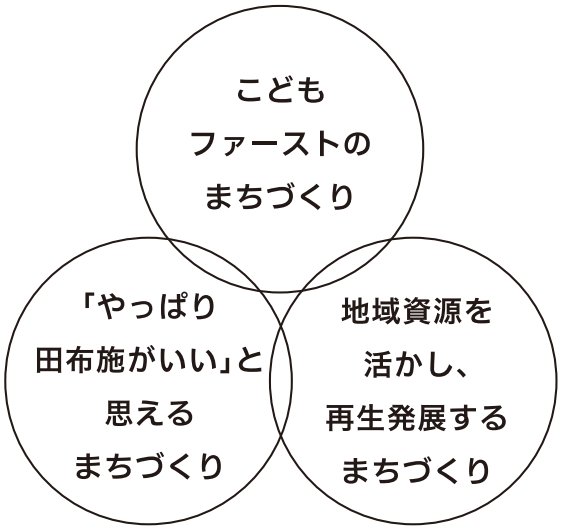
Q まちづくりの基本目標を 発信・掲示しては

A 調整に時間をいただきたい

東 町長

問 「たぶせ未来戦略」で示された指針。持続的な成長・発展をいかに進めるか。①田布施をどのようにしたいか。②戦略を進めるにあたり、どこが窓口で進捗把握・検証のタイミング、体系は。③職員の一体感が不可欠、基本目標を発信・掲示してはどうか。④中間貯蔵施設計画も避けて通れない問題、現時点の考えは。

答 ①これまで以上に「笑顔と元気あふれる住みよいまち」の実現に努める。②企画財政課が所管、地方創生検討委員会で年１回検証。③未来戦略策定は多くの職員が携わり、理解している。発信・掲示には調整に時間をいただきたい。④「事業計画」が示された後、１市３町、議会と協議したい。



たぶせ未来戦略 ３つの基本目標

まちの声 vol.1

田布施地域交流館の理事でもあり生産者でもある方々とお客さんにお話を伺いました！



いろんな声が行き交う活発な出荷風景でした

新鮮な農水産物や加工品が買える
ズバリ田布施の台所！

田布施地域交流館
山口県熊毛郡田布施町中央南1−8

SAKURA_MICHI



生産者・副理事長
小野さん

交流館の魅力
生産者やお客様との会話ができるのが魅力です。
自分が栽培してない作物などを購入することもあります！

施設に対しての思い
施設の老朽化。駐車場が整備されたのでもっと発展させたい。



生産者・理事
勝岡さん

大切にしていること
お客様に喜ばれる野菜を出荷しています。

施設に対しての思い
お客様と生産者との交流の場として発展されることを節にお願いしたい。

交流館の魅力
出荷後に生産者仲間と話ができるのがいい。お客様ともコミュニケーションがとれる。



生産者・理事 福本さん



生産者・理事
矢村さん

交流館の魅力
同じ世代の仲間と語り合える。
お客様との語らい。自分の生産したものをお客様に味わってほしい。

施設に対しての思い
交流館を田布施のシンボルとして長きにわたって繁栄させる。



お客様　Oさん、Yさん

交流館の魅力
季節の果物がたくさんあるところです。

交流館の魅力
野菜が新鮮で種類が多いのが魅力です。



お客様
古道さん

交流館の魅力
品数が多いところ。
苗も豊富で色々揃う。
周防大島のぶどうがここで買えるのがありがたいです！

理事長が大事にしていること

1.お客様ファースト(おもてなしの心)。
心地よい空間づくり。
2.販売品の安心安全の徹底。
3.地域共生。生産者と消費者を結ぶ「架け橋」となるよう心がけています。

今年6月からの新理事長



田布施地域交流館
斎藤 理事長

◇※◇ 議員の活動報告（7月～9月）◇※◇

7月
3日 議会広報委員会（高月・藤田・内山・落合・高見・守田）
田布施町人権教育推進協議会（高見）
6日 柳井地区広域市町議会議員研修会
（内山・落合・瀬石・高月・高見・谷村・西本・藤田・松田・守田・南議長）
8日 山口県町議会議長会定例会（南議長）
離島振興市町議会議長会臨時会（南議長）
10日 議会広報委員会（高月・藤田・内山・落合・高見・守田・南議長）
11日 城南学園児童発達支援センター新築工事起工式（南議長）
14日 熊毛郡議会広報連絡協議会（高月・藤田）
17日 議会運営委員会（落合・内山・谷村・西本・松田・南議長）
21～23日 離島議長会行政視察（南議長）
24日 臨時会
27～28日 全国市町村議会議員研修（藤田・松田）
30日 原水爆禁止国民平和大行進（南議長）

8月
3日 熊毛郡町議会議長会定例会（南議長）
6日 行政視察受入（光市）（南議長）
14日 麻里府地域ふれあい納涼盆踊り大会（南議長）
20日 山口県町議会広報研修会（高月・藤田・内山・落合・高見・守田）
26日 駅舎等整備検討委員会（高月・藤田）
28日 町村議会広報研修会（高月・内山・落合）

9月
3日 議会運営委員会（落合・内山・高月・谷村・西本・松田・南議長）
議会広報委員会（高月・内山・落合・高見・守田・南議長）
4日 熊南総合事務組合歳入歳出決算審査（藤田）
8日 第5回定例会本会議（初日）
9日 第5回定例会本会議（2日目）
10日 決算審査特別委員会
（西本・落合・小中・瀬石・高月・高見・谷村・藤田・松田・守田・南議長）
14日 経済厚生委員会（内山・守田・小中・瀬石・高月・谷村・南議長）
16日 総務文教委員会（西本・高見・落合・藤田・松田・南議長）
18日 第5回定例会本会議（最終日）
26日 スポーツまつり（南議長）
28日 議会広報委員会（高月・藤田・内山・落合・高見・守田）

Report

議員研修
7/6 月



防ごう　議会におけるハラスメント

第25回柳井地区広域市町議会議員研修会が柳井市で開かれ、議員、町長、副町長、教育長が参加しました。社会保険労務士で前長岡市議会議員（元議長）の白石多津子さんが「議会におけるハラスメント防止～議員・職員・住民との関係から考える～」のテーマで講演。ハラスメントは人間関係の問題ではなく組織の機能に関わる問題、ハラスメント防止は安心して議論するための土台と指摘。議員が自覚すべきこととして、「『自分はそんなつもりではなかった』はダメ。職員や後輩議員は先輩議員の部下ではない」など、学ぶことの多い研修でした。

Report

広報研修会
8/20 木



パッと伝わる「議会だより」に！

山口県町議会広報研修会が山口市で開催され、広報委員会に所属する議員が参加しました。講師は、グラフィックデザイナーで日本広報協会アドバイザーの平本久美子さん。「読まれる議会だより」を作るには、表紙と巻頭特集を工夫する、無関心層をターゲットにすることがコツとのこと。また、6町の「議会だより」をそれぞれ分析診断し、改善点などを具体的に指摘。「たぶせ議会だより」は、情報の見つけやすさ、内容の分かりやすさ、表現の親しみやすさなど、全体的に高く評価されました。「子育て」「医療」など読者の関心分野ごとの構成にするとよりわかりやすいとアドバイスも受けました。

議会を傍聴してみませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。
身近な町政、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

12月 定例会 日程（予定）

10日	本会議（初日）
11日	本会議（2日目）
14日	経済厚生委員会
16日	総務文教委員会
18日	本会議（最終日）

information

いずれも午前９時から。一般質問は10日、11日に行う予定です。
定例会の正式な日程は、12月7日の議会運営委員会で決定されます。
日程の変更は、町ＨＰでお知らせします。

※受付簿廃止により、氏名等記入しなくても傍聴できます。

【問合せ先】 議会事務局 ☎0820-52-5800

歳時記



▲古代米アートに「まるっ」！
ご提供：木村様



▲秋の共演
by高月

議員リレー随筆

食欲の秋

内山 昌晃

「好きな食べ物は」と聞かれれば迷うことなく焼肉・ラーメン・とんかつ・ハンバーグ・唐揚げ等、高カロリーな品々が思い浮かぶ。一見、主役と思われがちなこの品々。実は、主役を引き立てるための脇役にすぎません。

これからの食卓の主役となるのが「新米」です。つやつやと輝く白米を頬張る瞬間は、まさに至福のとき。豊かな香りと甘みが広がり幸せいっぱい。この美味しいお米が食卓に届くまでには田植えから稲刈りまで農家の皆様のたゆまぬ努力があってのもの。深い感謝の気持ちを込め、今日も大盛りご飯いただきます。

わが母校、田布施西小

落合 祥二

昭和36年（1961年）4月に竹尾、国木、西田布施小の3校が統合して新しい田布施西小が誕生した。本館が完成していなかったので、竹尾・国木両小を分教室として使用し、9月に本館が落成して実質統合が実現した。

私は2年の1学期まで国木小で学んだ。

現在、西小では毎月「24（にし）の日」が設けられ、通学路や講堂前であいさつ運動、その後に各クラスでフリートークがある。児童と接し小学校時代を思い出す。

昭和41年、男28、女23の51人が卒業した。今月、西小の同窓会を開催する。再会が楽しみだ。

発見！クイズたぶせ

問1 3択クイズです。2問お答えください。

くま対策スプレーの購入本数は？

①10本 ②50本 ③100本

問2 空き家バンクリフォーム補助金は最大いくらもらえるでしょう？

①30万 ②40万 ③50万



ヒント 答えは、議会だよりの文章の中に書かれていますよ。探してみてください。

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。

●宛先　〒742-1592
山口県熊毛郡田布施町
大字下田布施3440-1
田布施町議会事務局　宛

●応募締め切り
令和8年11月30日（月）

●Eメールからもご応募できます
gikaijimukyoku
@town.tabuse.yamaguchi.jp

正解者の中から抽選で3名様に千円分の図書カードをお届けします。なお、当選者の発表はお届けをもってかえさせていただきます。ご了承ください。

前号の正解

問1 6月補正で一般会計の総額は ②74億5784万円

問2 視察に行ったのは ②高鍋駅

編集後記

議会だよりは昨年6月号より、町民の皆様に議会への関心をもって読んでいただけるよう、内容を工夫し、難しい言葉の解説を図るなど、充実した紙面となるよう広報委員一同、万里一空（ばんりいっくう）の思いで取り組んでいる。

平成14年にスタートした議会広報公聴モニター制度では、これまで多くの方から議会だよりを読んだ感想やご意見をたくさんいただいてきた。24年の歴史あるモニター制度も一区切りをつけ、今号からは新たに町内で活動されている団体にスポットを当て、取材してご紹介していく。

第1回は、田布施の賑わいづくりの一翼を担う「田布施地域交流館」の職員、出品者、お客様にお話を伺い、掲載した。今後も多くの団体を取材し、田布施の大いなる発展に寄与できる紙面づくりにあたる所存である。

（高月）

※万里一空
一つの目標に向かって努力を続けること

発行／田布施町議会　〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施3440-1　TEL：0820(52)5800　FAX：0820(52)5970
編集／議会広報委員会　印刷／合同会社坂本印刷　発行日／2026年10月23日
議会だよりの題字は、岸 信介書